



～訓子府町まちづくり推進会議条例に基づく～

第2回まちづくり推進会議

令和元年
12月1日 発行

日 時：令和元年11月6日（水）18:30～20:50 場 所：公民館多目的ホール
出席者：委員 18名 事務局 3名 町説明員 5名

協議事項

◆まち・ひと・しごと創生総合戦略について

次期総合戦略の策定に向けて、今までの経過や本町の現状等について説明し、意見交換を行いました。

○主な質疑・意見等

A委員：人口減がネックだと思います。自分たちの地域でも人口が減ってしまって、明日はどうしようかと思案しているところです。

B委員：人口が減っていく中で市町村の間で人の取り合いみたいな感じで、来てくれたらいろいろな補助金がありますよというような町が多いですね。

A委員：高校の生徒も北見と取り合っているようですよね。訓高は給食まで出しているなど、いい待遇をしていると思いますが、それでもなかなか生徒が来ないようですね。

C委員：将来人口推計を出している社人研（国立社会保障・人口問題研究所）というのはどういう組織ですか。また、町民が見たらびっくりするような数字ですが、そのような数字を使用する必要がありますのでしょうか。

元気なまちづくり推進室：厚生労働省の研究機関ですが、そこで出された推計人口については、全国の市町村で使われており、できるだけその数字にならないようにしようとするものです。

B委員：高齢者の町外転出の主な理由はどう考えていますか。

元気なまちづくり推進室：介護施設への入所のほか、病院への交通の便の問題などもあり、利便性を求めて町外に転出する場合もあるかと思います。

D委員：農家に独身男性が多いようなので、地域の年配の人や経験の多い人がお嫁さんを紹介するようなことに力を入れてほしいです。そうすれば子どもも生まれるし、人口も増えると思います。

E委員：病院もないし、仕事もないとなったら人口が減るのも当たり前だと思います。誰かに起業してもらおうとか、病院を誘致するなどすれば人口も増えると思いますが、なかなか難しいのかなとも思います。また、北海道のいいところを発信していくことも必要だと思います。

F委員：小学生のうちから家族の大切さを伝えていくような教育をすることで、家族を持つことが素晴らしいことだということを教えていくことも長期的に見ていいのではないかと思います。



◆通学路への防犯カメラの設置について

通学路への防犯カメラの設置については、前回会議において概要の説明と意見交換を行いました。今回は設置場所や運用方法など、前回より具体的な説明を行った上で意見交換を行いました。

～ 資料抜粋 ～

設置場所

- ・今後、防犯の観点から関係機関等の意見を踏まえ、設置場所を選定する予定。
(現在の仮案～訓子府小学校校門付近、叶橋付近、居武士小学校校門付近の3箇所)

運用方法

- ・撮影していることを明示「防犯カメラ撮影中」。
- ・撮影したデータは7日間を目安に上書き保存。
- ・設置管理担当を決める。
- ・監視をするものではないので、映像を見るモニターは設置しない。
- ・プライバシーに配慮するため、管理運営に関する要綱等を定める。
- ・情報の公開については、法令や条例等により情報を提供する。



防犯カメラ撮影中

○主な質疑・意見等

B委員：令和2年度に設置するというところでよろしいのでしょうか。

町民課：管内で普及しない理由の一つとして、地域からの反対がありますし、付近の住民の合意形成が必要ですので、すぐに設置することにはならないことをご了承ください。今後は、令和2年度の設置に向けて予算要求をする予定です。

A委員：台数は3台しか考えていないということでしょうか。

町民課：今のところ小学生を中心に考えていますので、小学校周辺に3台というかたちで考えています。

G委員：3台を設置した後、何年か後にもう1台増やすということは検討しているのでしょうか。例えば、地域の要望があった場合に検討してもらえるのでしょうか。

町民課：警察とも相談し、まずは3台からスタートしようという考えですが、地域の要望などがあった場合は、今後増やしていくことも検討しなければならないと思っています。

H委員：町内のコンビニなどでカメラを付けているところもあると思うので、その実態も把握してバランスも考えたほうがよいのではないのでしょうか。また、小学校だけではなく、例えば訓高周辺など要所にはあったほうが良いような気がします。

町民課：防犯カメラは高額なため、まずは3箇所から始めて、住民の要望を聴きながら検討していきたいと思っています。また、コンビニなどの防犯カメラの設置状況は把握できていませんので、今後の検討課題とさせていただきます。



E委員：私は前にも言ったとおり、事件が起こったときに、なぜすぐ付けなかったのですかとなるのではと思います。救える命も救えなかったら大人の責任だと思っています。

B委員：例えば、通学路防犯カメラ作動中などといった看板を出す予定はありますか。

町民課：看板を設置することによって抑止力が高まりますので、防犯カメラの撮影をしていることがわかるように看板を設置する予定です。

C委員：この事業は、町単独の事業か、それとも国の補助制度などがあるのでしょうか。

町民課：特別交付税の制度がありますが、今回の設置箇所では該当とならないため、町単独事業となります。

C委員：カメラを設置した場合、データは1週間保存されるということだが、それを毎日見るのか、それとも1週間に1回見るのか。

町民課：データについては、何かあったときしか見ることはありません。

I委員：抑止を目的とするのでしょうか。それとも、犯罪者を探すことを目的とするのでしょうか。

町民課：抑止が主な目的です。

I委員：人から見えるところで犯罪は起きませんよね。3台では事件が起きたときに探そうとしても無理じゃないでしょうか。

B委員：例えば、町内にたくさん設置したとしても、犯罪者はその隙を狙っているのだから、どこまで行っても難しいのかなと私は考えます。犯罪を起ささないように抑止のためにやっていくということですから、3台では少ないですけども、とりあえずは3台からということなんだろうなあとと思います。

E委員：防犯カメラがあるというだけで抑止力になるとすれば、本当に撮影できるのは3台で、あとはダミーでもいいと思います。また、データの保存期間については1週間より長いほうがいいと思います。

町民課：抑止力という意味でのダミーの設置については、検討したいと思います。また、SDカードを使っていますので、SDカードの容量で保存期間は変えることができます。

J委員：学校運営協議会でも、看板を付けて抑止力を高めるなど、この会議と同じような話題が出ました。また、小学校で怖い思いをした児童がいますので、早く設置してほしいという要望はあります。

K委員：自分が子どもの頃、図書館の前で怪しい人に話しかけられたことがありますし、小学生も中学生も利用する図書館に設置したほうがよいのではと思います。また、人通りのある駅に設置することも検討してほしいです。

A委員：何回も意見が出ているように、一刻も早く3台を設置して、危険な箇所もはっきり出てきているので、早急に増設もしてほしいです。また、ダミーにも看板を設置したほうがよいと思います。

G委員：設置するときには、改めて小学校のPTAや後援会に相談をしてもらえるのでしょうか。

町民課：当然、そのような手順は考えなければならないと思っています。



◆まちづくり推進会議の位置付けについて

前回会議では、町民主体のまちづくりの実現に向けて本町がめざす町民参加のかたちについて説明を行いました。今回はまちづくり推進会議の位置付けを中心に改めて説明を行い、意見交換を行いました。

○主な質疑・意見等

○委員：説明のあった町民参加のかたちに議会が入っていないのは、おかしいのではないのでしょうか。
事務局：資料や説明では、議会のことは触れていませんが、最終的には町長が議会に提案して判断してもらうという流れは、今までと変わらないかたちとなります。

Ｌ委員：今日は、欠席者が多いようですが、何人欠席しても会議が終わればよいという会議なのでしょうか。決まりはあるのでしょうか。

事務局：まちづくり推進会議条例の中では、会議は委員の過半数の出席をもって成立すると規定しています。

◆「よくわかることしの仕事」のリニューアルについて

町内に全戸配布している冊子「よくわかることしの仕事」については、町の予算をわかりやすく町民の皆さんにお知らせすることを目的に発刊していますが、リニューアルに向けて改善すべき点などについてご意見をいただきました。



○主な質疑・意見等

D委員：字が小さいと思います。

M委員：この冊子にお金をかけるより防犯カメラにかけてほしいと思います。

N委員：きちんとまとまっていると思いますが、冊子が少し厚いのかなと思います。

E委員：全戸配布ではなく、希望者に配布するという考えはないのでしょうか。

B委員：町民にとっては、自分たちの暮らしの中でこのような制度がありますというようなお知らせのほうの実用的のかなと個人的には思います。

J委員：冊子がほしい人は役場でもらえるけれど、インターネット上に載っていれば十分な人もいます。ネット環境にない人は、取りに来てくださいますとすることで、いくらか予算を節減できると思います。

◆「開町 100 周年・町制施行 70 年記念事業」のアイデア募集について

来年予定している記念事業の概要説明を行い、事業実施に向けて委員の皆さんからアイデアやご意見をいただきました。

○主な質疑・意見等

H委員：ぜひ有名な芸能人を呼んでもらいたいと思います。

E委員：ナイナイのお見合い大作戦（テレビ番組）に申し込むのも面白いと思います。

G委員：例えば、住民からアンケートを取って“ベスト夫婦”というのを年代別で決めるのも面白いのかなと思います。年代別で幸せそうに見える夫婦がいるというのは、これからの若い人たちにもいい影響を与えるのかもしれないと思います。

まちづくり推進会議の資料は、役場庁舎(正面玄関横)および図書館に設置しています
「まちづくり情報コーナー」で閲覧ができます。

